

昭和大学 医学・歯学・薬学・看護・理学・作業療法学 連携PBLの取組について

—コロナ禍におけるデジタル化への挑戦—

第39回「大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム」
教育機関DXシンポ 2021年9月3日 オンライン開催

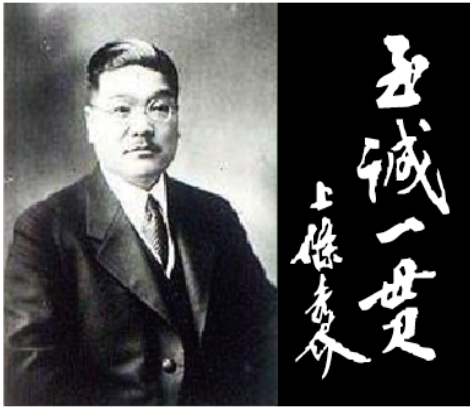
昭和大学 歯学部
スペシャルニーズ口腔医学講座歯学教育学部門
昭和大学 学部連携PBL委員会 委員長
片岡 竜太

昭和大学の特徴

「至誠一貫」の精神と 創立90年の歴史

医学部・歯学部・薬学部・保健医療学部（看護・理学療法・作業療法学科）

8 附属病院からなる 「医系総合大学」



上條 秀介博士



初年時「全寮生活」 富士吉田キャンパス 60年の歴史

Education 教育

人の痛みのわかる優れた
医療人の育成をめざして

本学では、知識や技能の修得だけでなく、
生命の追究に必要な人間性、独創性を培うこと
のできる全人的教育を実践しています。
その教育理念は学部・大学院のみならず、医
学部附属看護専門学校にまで貫かれており、
人の痛みのわかる優れた医療人の育成に力を
注いでいます。



初年次は4学部合同で全寮生活
各部屋に全学部の学生を配置



チーム医療教育

アウトカム
(卒業時)

多職種間の相互理解と連携・協力を基盤として、情報を共有し自らの専門性を発揮し、患者中心の医療に貢献する。

コンピテンシー・卒業時のアウトカム

臨床実習教育

臨床実習前教育

初年次教育

急性期チーム医療

第4段階

医・歯・薬
5年次

保健医療
4年次

学部連携
病棟実習

第3段階

医・歯・薬
4年次

保健医療
3年次

学部連携病棟実
習シミュレーション

第2段階

医・歯・薬
3年次

保健医療
2年次

臨床シナリオ・
学部連携PBL

第1段階

医・歯・薬
1年次

保健医療
1年次

学び方を学ぶ(入門用PBL)
チーム医療入門

回復期・維持期チーム医療

第3段階

医・歯・薬
4年次

保健医療
3年次

認知症と身体疾患を抱えた
祖母のナラティブとともに暮ら
す家族のナラティブ

第2段階

医・歯・薬
2年次

保健医療
2年次

認知症を抱えた祖母のナラ
ティブとともに暮らす家族の
ナラティブ

第1段階

医・歯・薬
1年次

保健医療
1年次

田舎で独りで暮らす祖母
のナラティブ

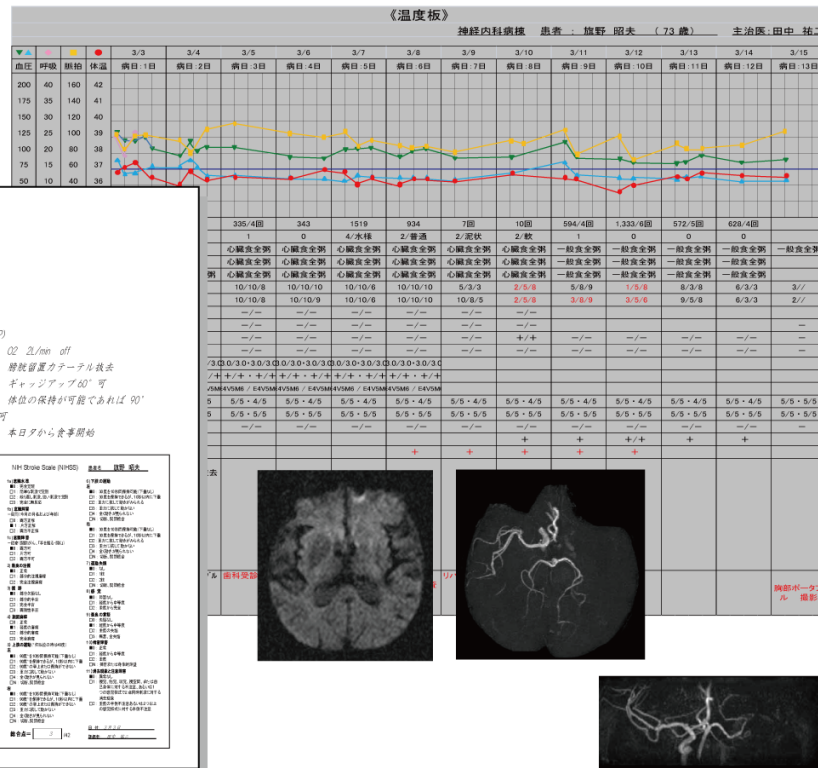
学部連携PBL

4学部の学生が学部の専門性を発揮しながら討論できる臨床症例を提示

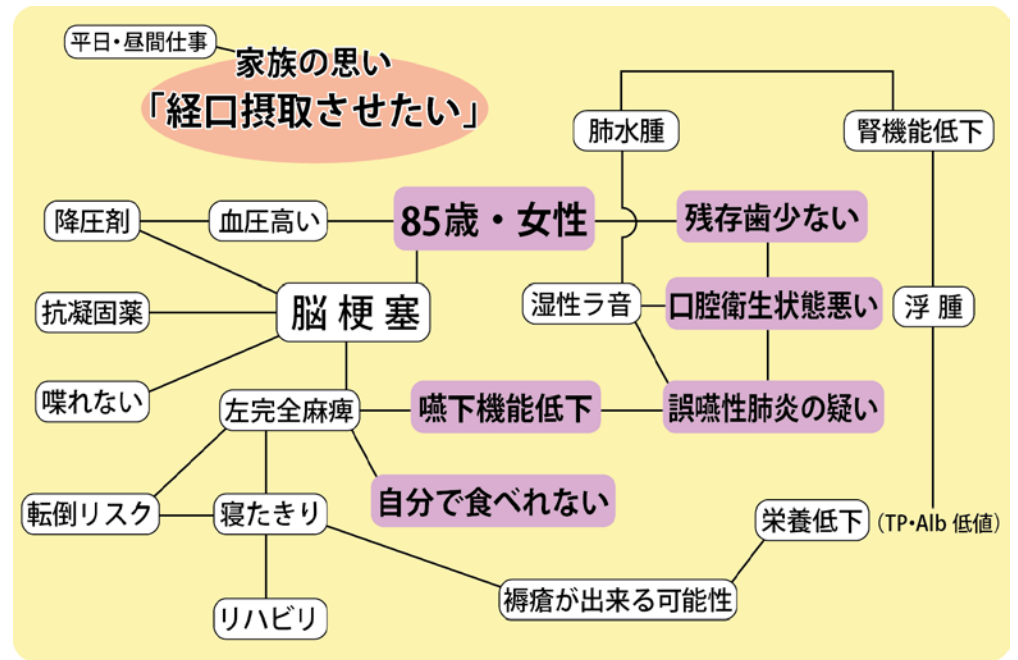
4学部学生1学年600名を72グループ（1グループ8名）に分けてPBLを実施する。
約60名の教員が指導する。



入院医科診療録	
IDNo. 01234567	診療科 脳神経科
氏名 藤野 昭夫 様	入院: 2010年 3月 3日
生年月日 昭和12年2月3日	性別 男
〒123-4567	東京都品川区のぞみ1-5-8
入院理由	01 BT 36.8 BP 134/92 (右) HR 84 意識レベル E4V3M5/GCS 瞳孔 3mm 正円、両側、瞳孔不同なし、 対光反射良好 顔面麻痺軽度あり 構音障害なし、失語あり 眼底結膜充血なし、眼底結膜出血なし 口腔: 軽度舌苔、口臭あり、義歯あり 胸部: 心音正常、呼吸音清 下咽浮腫なし 腱反射左右差なし



シナリオ教材



プロブレムマップ

PBLの流れと学修環境

1日目

問題は何か？

学修項目を決める

自己主導型学修 (SDL)

2日目

問題を解決する

解決策を検討する

自己主導型学修 (SDL)

3日目

説明会

解決策を説明する

2008年～
2019年

大学キャンパス
(フィジカル空間)

自宅・自習スペース
(サイバー空間)

大学キャンパス
(フィジカル空間)

自宅・自習スペース
(サイバー空間)

大学キャンパス
(フィジカル空間)

2020年～

*SGD
Google スライド、Meet

自宅・自習スペース

SGD
Google スライド、Meet

自宅・自習スペース

(サイバー空間)

大学キャンパス
(フィジカル空間)
Google スライド

*SGD (Small Group Discussion)

学部連携PBLの進め方（2008年～2019年）

1日目

大学キャンパス
(フィジカル空間)

オリエンテーション
とPBLの進め方
(60分)



PBL室 SGD

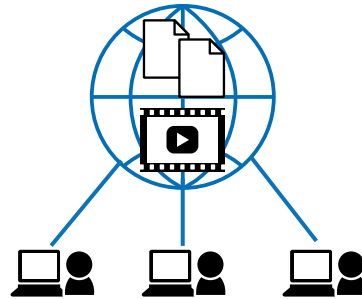


自己主導型学修
(SDL)

自宅・自習スペース
(サイバー空間)

仮想PBL室

PBL支援サイト



グループでレポート等
提出物を共有

2日目

大学キャンパス
(フィジカル空間)



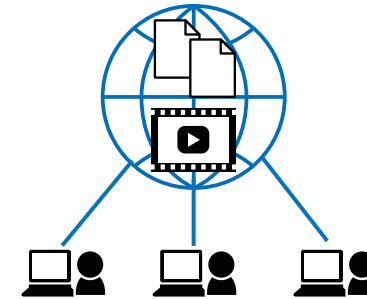
ファシリテーター

自己主導型学修
(SDL)

自宅・自習スペース
(サイバー空間)

仮想PBL室

PBL支援サイト



グループでレポート等
提出物を共有

3日目

大学キャンパス
(フィジカル空間)

説明会

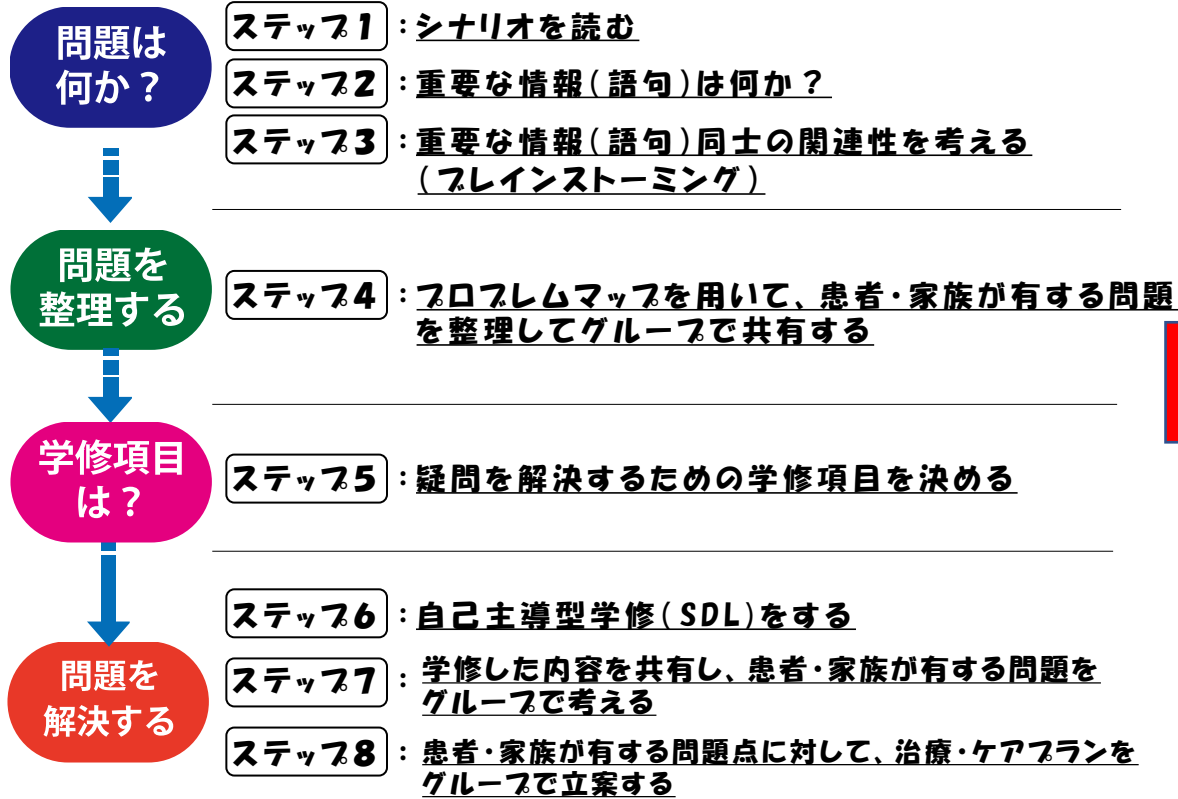


指導スタッフ、
患者、家族に
説明する

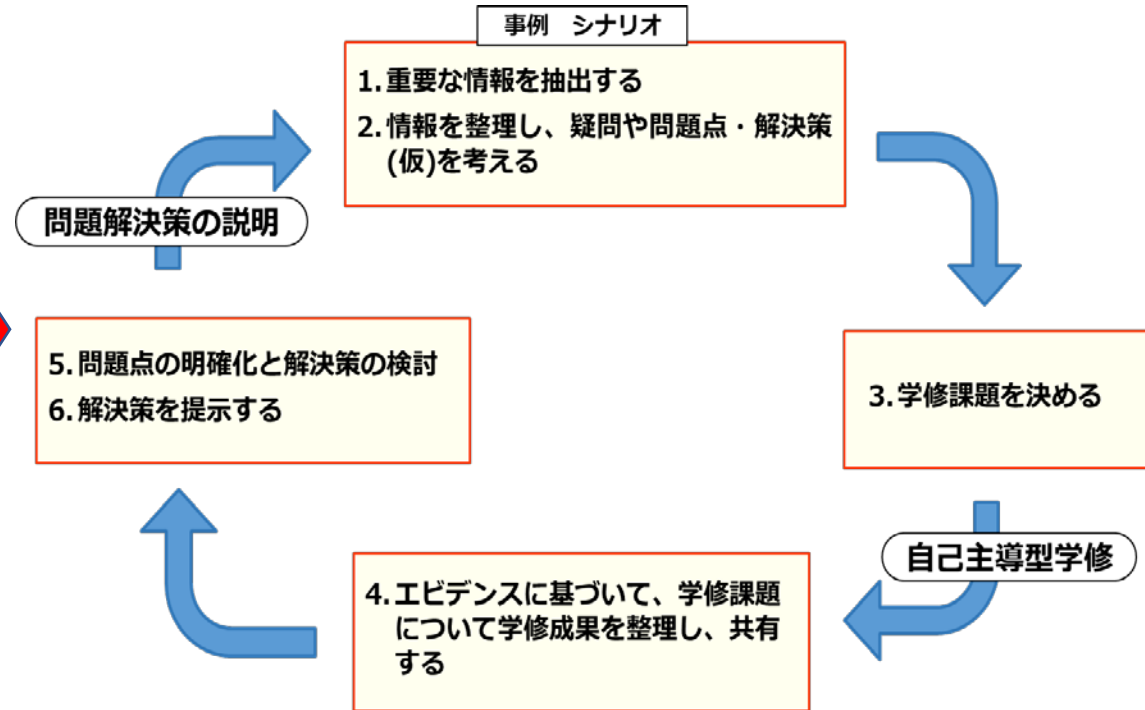
学部連携PBLの進め方 (2008年～2019年)

学部連携PBLの進め方 (2020年～)

PBLの進め方



PBL(Problem Based Learning)の学修プロセス



PBLの進め方 ステップ1～8 → プロセス1～6へ簡素化

学部連携PBLの進め方 (2020年～)

1日目

自己主導型学修
(SDL)

2日目

自己主導型学修
(SDL)

3日目

SGD
Google スライド、Meet

自宅・自習スペース

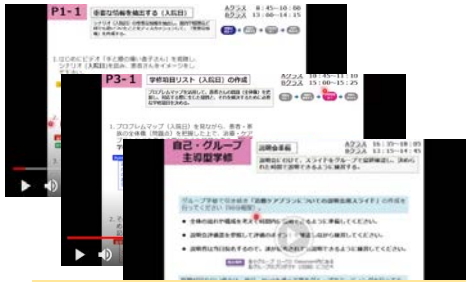
SGD
Google スライド、Meet

自宅・自習スペース

(サイバー空間)

大学キャンパス
(フィジカル空間)

Google スライド



オリエンテーション動画

PBLの進め方 1～5 説明動画
(3分～10分)



Googleスライドを使ったプロダクト



GoogleMeetを使ったSGD



ファシリテーター

PBLの進め方 ステップ 1～8 → プロセス1～6へ簡素化

説明会



指導スタッフ、
患者、家族に
説明する

デジタル化による利点

- 学修支援システムの向上
PBLのプロセスごとにPBLの進め方の説明ビデオを閲覧できる。
- PBLのプロセスをシンプルにしたことにより、問題解決のプロセスへの理解が深まった。

改善すべき点

- アイスブレイクに時間がかかる。
- コミュニケーションがとりづらい。
(うなづきなど空気が読みづらい、発言のタイミングが難しい)
- 参加度が低い学生がいた場合の対応が難しい。

SHOWA University

医学部

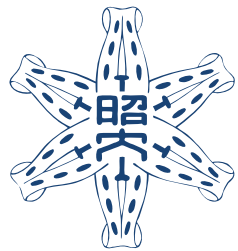
歯学部

薬学部

保健医療学部

ご清聴ありがとうございました

—— 国民の健康に親身になって尽せる臨床医家を養成する ——



昭和大学

